

夏季における教育活動及び学校生活でのマスクの着用について

日頃より、本校の教育活動へのご理解、ご協力に感謝申し上げます。

さて、熱中症のリスクが高くなる夏季におけるマスクの着用について東京都ならびに中野区教育委員会より通知がありました。つきましては、下記のとおり対応いたしますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。

マスクの着脱を行うことが増えることから、マスクを入れる袋をご用意いただきたく思います。給食のランチマットを入れる袋と同様のものでも構いません。どうぞよろしくをお願いいたします。

記

1 日常の教育活動について

基本的な感染対策の重要性は変わらずに重視し、引き続き「三つの密」の回避、「人と人との距離の確保」、「マスクの着用」、「手洗い等の手指衛生」、「換気」等の徹底を継続し、教育活動を行います。

2 学校生活においてマスクの着用が不要な場面について

気温・湿度や暑さ指数が高い夏場においては熱中症対策を優先し、以下の場面ではマスクを外すこと等を適宜指導します。

	1~2mの身体的距離が確保できる。		身体的距離が確保できない。	
	屋内	屋外	屋内	屋外
会話を行う。	着用を推奨(*1)	着用の必要はない。	着用を推奨	着用を推奨
会話をほとんど行わない。	着用の必要はない。	着用の必要はない。	着用を推奨	着用の必要はない。

*1…十分な換気など感染防止対策を講じている場合は外すことも可

- (1) 屋外において、他者と身体的距離が確保できる場合や他者と距離がとれない場合であっても会話をほとんど行わない場合
- (2) 屋外の運動場に限らず、プールや屋内の体育館等を含めた体育の授業
- (3) 休憩時間における運動遊び
- (4) 屋内において他者と身体的距離がとれて会話をほとんど行わない場合
- (5) 気温・湿度や暑さ指数(WBGT)が高い日など、熱中症などの健康被害が発生するおそれがある場合
・マスクを外す際は、換気や児童の間に十分な距離を保つ、近距離での会話を控えるなどの配慮をすることが望ましいが、熱中症には命に関わる危険があることを踏まえ、熱中症への対応を優先します。
・児童本人が暑さで息苦しいと感じた時などには、マスクを外したり、一時的に片耳だけかけて呼吸したりするなど、自身の判断でも適切に対応できるように指導します。
- (6) 熱中症リスクが高い夏場の登下校時
・自分でマスクを外してよいかどうか判断が難しい児童へは、登下校時には屋外でマスクを外すよう、声をかけるなどの指導を行います。
・人と十分な距離を確保し、会話を控えることなどについても併せて指導します。

なお、これらの例は、記載する場面において児童のマスクの着用を禁止する趣旨ではありません。熱中症対策を講じた上で、様々な理由からマスクの着用を希望する児童に対しても適切な配慮を行います。